

いのちまもる医療・介護・福祉労働者は 「戦争法案」に反対です。

安倍自公政権が国会会期を延長し成立させようとしている「戦争法案」は、あらゆる場合に自衛隊が海外に出動し、「いつでも、どこでも、切れ目なく」他国の戦争に介入し、武力を行使できるようにするものです。

私たちは、先の大戦で海外での侵略戦争に従軍看護婦として動員された痛苦の体験から「ふたたび白衣を戦場の血で汚（けが）さない」ことを合言葉に、和といのちまもる課題を結成以来60年間、一貫し産別の最重要課題として位置づけて運動にとりくんできました。国民のいのちと健康を守る医療・介護・福祉労働者として、直ちに同法案を撤回することを求めます。

以上、職場から決議します。

2015年8月28日

組織名 【 長野県医労連 介護対策委員会 】

施設名 【 対策委員長 曾川広亮 】

職場・所属 【 15 】 名

【賛同者の名前やメッセージなど】

日本は70年前、「政府の行為によって、再び戦争の惨禍」を繰り返さないと決意した。にもかかわらず、憲法と国民世論を無視して戦争法案を強行成立することは許されない。安倍政権は直ちに退陣せよ！

